

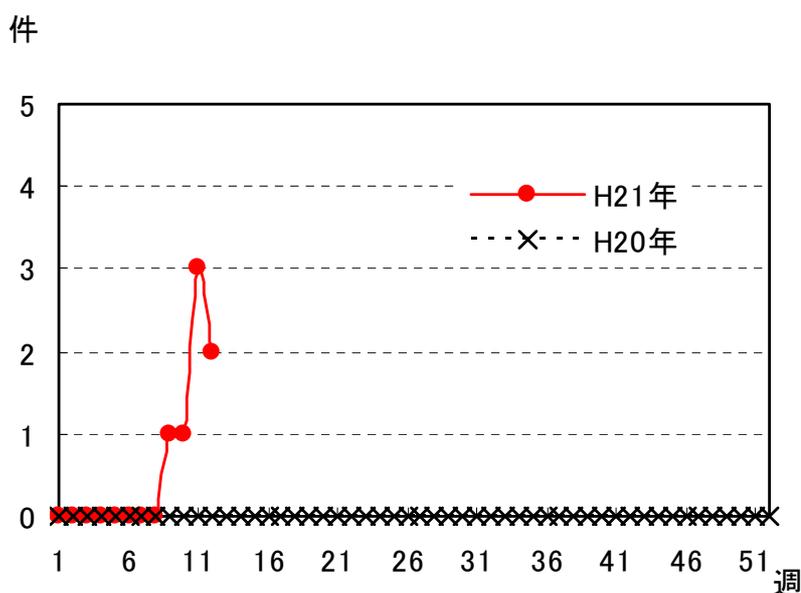
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)が 流行しています！

現在、新島で流行性耳下腺炎の患者が増加しています(参照：グラフ1)。患者は、8歳または9歳の児童です。

家庭および小学校において以下の点に注意して生活してください。

- お子さんに発熱、耳下腺の腫れなど流行性耳下腺炎が疑われる症状が出ていないか観察しましょう。症状が疑われる場合は診療所を受診しましょう。
- お子さんの母子手帳を確認し、過去に流行性耳下腺炎に罹ってなく、予防接種もしていない場合、流行性耳下腺炎の予防接種を考慮しましょう。
- 症状改善後も体力が回復するまでは外出を控えましょう。

グラフ1：新島 流行性耳下腺炎 報告週別届出症例数(平成21年12週まで)



流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)Q & A

Q 1 . 流行性耳下腺炎とはどのような病気ですか？

A 1 . 発熱、耳下腺の腫れ、物を飲み込む時の痛みが見られる病気です。重症化すると髄膜炎や難聴になることがあります。症状は1~2週間程度持続します。主に小児がかかります。

Q 2 . 流行性耳下腺炎はどうして起きますか？

A 2 . ムンプスウイルスといったウイルスに感染することで流行性耳下腺炎にかかります。患者の咳や唾を吸い込んだり、患者の唾に触ったりすることで感染します。ウイルスに感染後16~18日で症状が出現します。

Q 3 . 流行性耳下腺炎の治療はどのように行いますか？

A 3 . 患者の症状に合わせた治療となります。

Q 4 . 流行性耳下腺炎はどのように予防すれば良いですか？

A 4 . 予防法は患者との接触を避けること、うがいや手洗いを丁寧に行うこと、流行性耳下腺炎のワクチンを接種することです。過去に流行性耳下腺炎に罹ってなく、予防接種もしていない場合、流行性耳下腺炎の予防接種を考慮しましょう。耳下腺が腫れている間はウイルスを排泄すると言われていきます。症状消失後も体力が回復するまでは外出を控えましょう。一応の目安として、学校保健法では、「耳下腺の腫脹が消失するまで」を流行性耳下腺炎による出席停止期間としています。